

飼料用稲栽培において、中通りの鉄コーティング直播で粗玄米重79kg/a、浜通りの乾田直播で粗玄米重82kg/aが得られた。

福島県農業総合センター 作物園芸部稲作科、浜地域研究所

1 部門名

水稲－水稲－水稲直播

2 担当者

佐久間祐樹・江上宗信

3 要旨

飼料用多収性品種「ふくひびき」を用い中通りにおいて鉄コーティング直播で粗玄米重79kg/a以上、浜通りにおいて乾田直播で82kg/a以上得られた。

- (1)鉄コーティング直播は、2010年、2011年に二本松市原セ大畑で前作大豆ほ場におい、坪刈り粗玄米重が79.3kg/a、79.2kg/aが得られた。
- (2)乾田直播は、2011年に浜地域研究所内の水稲連作ほ場で緩効性肥料を用いて、粗玄米重82.0～83.5kg/aが得られた。
- (3)各試験の耕種概要については表1のとおり。除草、病虫害防除は適宜に行った。
- (4)各試験ともにm²粒数40,000粒程度を軽微な倒伏程度で確保したことが多収の要因と考えられた。粒数が確保できた要因としては、有効茎歩合が高く、幼穂形成期、減数分裂期の葉色が比較的濃く保たれたためと考えられた。

表1 耕種概要

多収事例	試験場所	試験年次	品種	ほ場履歴	播種方法	条間 (cm)	種子予措
鉄コーティング ^①	二本松市原セ大畑	2010	ふくひびき	前作大豆	落水表面条播	30	鉄コーティング ^① 乾籾0.5倍重
鉄コーティング ^②		2011		前作大豆			
乾田直播 ^①	相馬市 (浜地域研究所内)	2011	ふくひびき	前作水稲	傾斜ベルト式小型播種機による条播	30	乾籾
乾田直播 ^②							
乾田直播 ^③							
多収事例	播種日	播種量 (kg/a)	苗立ち数 (本/m ²)	基肥窒素 (kg/a)	肥料種類	追肥 (回数、kg/a)	
鉄コーティング ^①	5月10日	0.49	109	0.56	高度化成	3回 0.47	
鉄コーティング ^②	5月12日	0.47	83	0.69	高度化成	2回 0.3	
乾田直播 ^①					LP40+LPS100(3:2)		
乾田直播 ^②	4月21日	0.78	160	1.2	LP70+LPS100(3:2)	なし	
乾田直播 ^③					全量LP70		

表2 成熟期の形質と収量

多収事例	試験年次 肥料種類 ※	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	m ² 粒数 (100粒)	登熟歩合 ※ (%)	千粒重 ※ (g)	坪刈り 粗玄米重 (kg/a)	全刈り 粗玄米重 (kg/a)	倒伏 (0~400)
鉄コーティング ^①	2010	86.0	18.8	405	388	-	23.6	79.3	77.9	10
鉄コーティング ^②	2011	80.5	18.5	436	406	81.4	24.3	79.2	77.8	88
乾田直播 ^①	全量LP70	72.8	18.6	427	403	84.2	23.0	82.0	-	0
乾田直播 ^②	LP40+LPS100(3:2)	73.2	18.7	380	406	80.9	23.3	82.1	-	0
乾田直播 ^③	LP70+LPS100(3:2)	77.4	19.0	419	486	74.2	22.6	83.5	-	0

注) 鉄コーティングは試験年次、乾田直播は肥料の種類で表記

注) 登熟歩合は鉄コーティングは玄米粒厚1.8mm以上、乾田直播は比重1.06の沈下籾

鉄コーティング2010年の登熟歩合は欠測

注) 千粒重は鉄コーティングは粒厚1.8mm以上、乾田直播は粗玄米

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成22年度～23年度
- (2) 研究課題名 寒冷地における地域有機質資材活用による飼料用米低コスト多収生産技術の確立
安全で効率的な新農業・新資材等の実用化
- (3) 参考となる成果の区分 指導参考

5 主な参考文献・資料

- (1) 福島県農業総合センター2010、2011年成績概要